

# 製品安全データシート

作成:1998年 2月 1日

改訂:2015年 5月12日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF044-06  
製品名 : フルピカくん煙剤  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : 生産資材部生産業務課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3827-0825  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

### 最重要危険物有害性及び影響

#### GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	: 区分外
	可燃性固体	: 区分外
	自己反応性化学品	: 区分外
	自然発火性固体	: 区分外
	自己発熱性化学品	: 区分外
	水反応可燃性化学品	: 区分外
	酸化性固体	: 区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	: 区分外
	急性毒性 (経皮)	: 区分外
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	: 区分外
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2 B
	皮膚感作性	: 区分外
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 区分1 A
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分1 (呼吸器系)、区分2 (腎臓、血液)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1 (呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	: 区分2
	水生環境慢性有害性	: 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

### 絵表示



注意喚起語 危険

### 危険有害性情報

- ・ 眼刺激
- ・ 発がんのおそれ

- ・臓器（呼吸器系）の障害
- ・臓器（腎臓、血液）の障害のおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害
- ・水生生物に毒性

【予防策】

- ・使用前に取扱い説明書を手し、安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取扱いの際には、飲食または喫煙をしないこと。
- ・指定された個人用保護用具を着用すること。
- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【対応】

- ・眼に入った場合、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：N-(4-メチル-6-プロパ-1-イニルピリミジン-2-イル)アニリン／一般名：メバニピリム

成分及び含有量	メバニピリム	15.0%
	塩素酸カリウム	12.0%
<その他>	硝酸アンモニウム	0.2% 未満
	鉱物質微粉 等	72.8%

化学式：  $C_{14}H_{13}N_3$  / メバニピリム  
 $KClO_3$  / 塩素酸カリウム

官報公示整理番号：	化審法	(1)-229	塩素酸カリウム
		(1)-395	硝酸アンモニウム
	安衛法	8-(2)-1603	メバニピリム

CAS No. : 110235-47-7 / メバニピリム  
 3811-04-9 / 塩素酸カリウム  
 6484-52-2 / 硝酸アンモニウム

4. 応急措置

本製品の使用中（くん煙）、又は火災等高温下にさらされて発煙した時以外は、下記の応急措置を必要とする事故はないものとする。

- |           |  |
|-----------|--|
| 眼に入った場合   | ： 煙が眼に入った場合は、直ちに多量の水道水で15分間以上洗眼（まぶたの隅々まで）し、速やかに眼科医の手当てを受ける。      |
| 皮膚に付着した場合 | ： 煙が触れた部位（手、顔、足等）を、石鹸を用いて多量の水で洗い流す。処置後、発赤など異常を感じた場合は、医師の手当てを受ける。 |
| 吸入した場合    | ： 多量の煙を吸った場合は、速やかに新鮮な空気のところへ移り、うがいをし、安静にし、速やかに医師の手当てを受ける。        |

飲み込んだ場合	: うがいをさせ、多量の水を飲ませて、嘔吐させた後、直ちに医師の手当を受ける。 塩素酸カリウムの解毒法としては、アルカリ療法（炭酸水素ナトリウム又は乳酸ナトリウムの静脈注射）が有効である。
5. 火災時の措置	
消火方法	: 1) 火災に巻き込まれて製品が発煙した場合は、周辺の人を風上に避難させた後、空気呼吸器(ない場合は濡れタオル)及びその他の保護具を着用し、風上の離れた所から消火する。 2) 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。
消火剤	: 多量の水、あるいは泡、炭酸ガス又は粉末消火器。
6. 漏出時の措置	
作業者に対する注意	: 1) 容器が破損し内容物がこぼれた場合は、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして「立入禁止」とし、飛散したものを掃き集めて空容器に回収し、持ち帰る。回収したあとは多量の水で洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。 2) 作業の際には必ず防塵マスク、ゴム手袋、保護眼鏡及びその他の保護具を着用し、風下で作業をしない。
7. 取り扱い及び保管上の注意	
取り扱い	: 1) 取扱い中は、点火時を除き、火気を近づけない。又、ラベルに記載以外の用途に使用しない。 2) 点火する際は、防護マスク、手袋、長そでの作業衣等を着用し、発煙を確かめたら、直ちにハウスや倉庫等から退場する。 3) くん煙中は、室内へ入ってはならない。又、くん煙終了後、入室する時は、あらかじめ出入口や窓等を開放し、十分に換気をする。 4) 呼吸器官の弱い人、病中・病後の人は、絶対に使用してはならない。 5) 取扱い後は、顔や手等の露出部を石鹼を用いてよく洗う。
保管	: 1) 火気や直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した鍵のかかる場所に密封して保管する。 2) 盗難、紛失の際は、警察署に届け出る。
8. 暴露防止措置	
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 日本産業衛生学会(2008年度版)、ACGIH(2008年度版) いずれも設定されていない。
設備対策	: 特になし(点火後、発煙中は温室等に入ってはならない)
保護具	: 使用又は事故による容器破損時以外の取り扱いでは特に必要としない。
呼吸用保護具	: 農薬用マスク(火災時は空気マスク)
保護眼鏡	: ゴーグル型
保護手袋	: ゴム又は塩化ビニール製
保護衣	: 材質は特定しないが長袖、長ズボン(できれば、つなぎ作業衣)
9. 物理・化学的性質	
外観等	: 類白色中空円板状
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: なし(200°C以上で発煙する)
発火点	: なし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし

蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
密度・比重	: 真密度 >1
溶解度	: 水に一部溶解する
分解温度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 未点火の製品は、通常の取り扱いでは特に危険性はない 点火により発煙する。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	5,000 mg/kg 以上
急性毒性（経皮）	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	2,000 mg/kg 以上
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ	弱い刺激性
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: ウサギ	中程度の刺激性
皮膚感作性	: モルモット	なし
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: 区分1 A	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 区分1(呼吸器系)、区分2(腎臓、血液)	
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 区分1(呼吸器系、腎臓)	
吸引性呼吸器有害性	: データなし	

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: データなし
甲殻類	: データなし
藻類	: データなし
残留性／分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
その他	: くん煙中のハウスは、魚介類を飼っている水槽等を置いてはならない。 ミツバチに対する影響: 処理翌日導入で影響なし。(製剤15g/100m <sup>3</sup> ) マルハナバチに対する影響: 処理翌日導入で影響なし。(製剤15g/100m <sup>3</sup> )

## 13. 廃棄上の注意

- 1) 使用後は、多量の水をかけて消火し、残さは一般廃棄物として処理する。
- 2) 未使用品は、開封し、木粉（おが屑）等とともにスクラバーを具備した焼却炉で焼却する。スクラバーの洗浄液には、水酸化ナトリウム水溶液を使用する。

## 14. 輸送上の注意

- 1) 荷役作業は丁寧にいき、転倒、転落、引きずり等により容器に衝撃を加えたり、手鉤の使用により破損させてはならない。
- 2) 運送の際は、雨水の浸透を防止するための被覆等をするとともに、容器が転落しないように積載し、休憩時等の盗難、紛失に注意する。
- 3) 毒物及び劇物取締法の劇物である。同法の輸送規則に従う。盗難・紛失は警察署等所轄官庁に届ける事。

国連分類	: 9（有害物質）
国連番号	: 3077(環境有害物質(固体))

## 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第19887号  
 消防法 : 非該当  
 労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物) 硝酸アンモニウム(政令番号308)  
                   第18条の2(通知対象物) 鉱物質中のシリカ(政令番号312)  
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 非該当  
 毒物劇物取締法 : 劇物 政令第2条第18号 塩素酸カリウム

#### 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。  
 使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) J I S Z 7 2 5 2 : 2 0 0 9 G H Sに基づく化学物質等の分類方法  
           2) G H S対応ガイドライン 製品安全性データシートの作成指針(改訂2版)  
           平成20年10月 社団法人 日本化学工業協会  
           3) 農薬中毒の症状と治療法 第13版 平成22年4月 農薬工業会  
           4) 製品安全データシート/新富士フルピカくん煙剤  
           新富士化成薬(株)発行(改訂:平成23年2月10日)

#### 作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。